

令和元年度

つながりひろがる地域づくり事業
報告書



令和元年度 つながいひろがる地域づくり事業実施団体一覧

No.	事業名	実施団体名	ページ
1	法蔵寺子ども囲碁教室	囲碁普及ボランティアグループ	2
2	安曇野の子どもを育てよう	こちょこちょの会	6
3	明科天田山神社周辺里山整備と桜の苗植樹	あづみの樹楽会	8
4	「ばおばお異世代交流会」開催事業	NPO法人 子育て支援ばおばお	12
5	落語ライブ	世代を超えて地域の笑顔の繋がりを考える会	14
6	あづみ野シネマフェスタ	あづみのアクターズアカデミア	16
7	安曇野市内のホタルの発生状況調査	NPO法人 川の自然と文化研究所	18
8	味覚の授業	安曇野調理師会	20
9	「下鳥羽の文化遺産～お宮と祭り～」の冊子出版	下鳥羽の古文書を読む会	22
10	神竹灯コンサートIN安曇野神竹灯2019&竹楽における特産品紹介	安曇野で暮らすように泊まる実行委員会	24



事業名 法蔵寺子ども囲碁教室

団体名	囲碁普及ボランティアグループ		
代表者名	峯岸 芳夫	連絡先	090-5808-0768
活動拠点所在地	安曇野市三郷明盛 1500-13	構成人数	14人
事業実施総額	350,754円(見込)	補助金額	169,000円
主な補助金使途	謝礼(講師、会場主)、碁盤セット、教材本		
事業実施日・期間	2019年4月1日～2020年3月31日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>子どもへの囲碁普及を軸に多くの市民がつながることを目指して年間を通して活動してきた。</p> <p>① 市教委育委員会の後援をえて安曇野市の小中学生に法蔵寺子ども囲碁教室の加入のチラシを配布し、30人の生徒をえた。次年度も同様に募集し囲碁普及を広げる。多くの囲碁愛好者の大人との子どもとの対局を進める。</p> <p>② 毎週土曜日の午後2時～4時まで囲碁教室を開き、囲碁指導を通じ子どもと大人の交流がはかれた。ほとんどの子ども達の棋力が向上し、有段者4人、他の子どもも中上級者となった。安曇野市囲碁将棋大会囲碁部B組(三・四段クラス)で囲碁教室の高橋怜聖君が優勝した。次年度は他の子ども達の活躍が期待できる。</p> <p>③ プロ棋士による囲碁入門講座、実力養成講座を開き囲碁の面白さを知り棋力向上の目的を果たした。結果、子どものみならず囲碁を習いた大人も出てき、指導に当たっている。多くの市民に囲碁の楽しさを広げる。</p> <p>④ 減少気味だった安曇野市囲碁将棋大会囲碁の部では今年度は子ども達の参加により過去最高の出場者となった。大人と子どもの対局が数多く行われた。今後も世代間交流は進んでいくと思われる。</p> <p>⑤ 囲碁をつうじての都市交流では東京都江戸川区と安曇野市交流が3月7、8日に安曇野市有明の江戸川区行われる。総勢80名の参加。子ども参加者数も双方で約30名越えるの参加。囲碁を通じての国際交流としては、安曇野市と姉妹提携のオーストリア・クラムザッハにドイツ語版囲碁入門書を作り普及用簡易碁盤とともに50セットを贈呈した。地域の越えての交流は子ども達にも夢や刺激を与える。豊かな交流に発展させたい。</p>		

この募集チラシを安曇野市の小中学生に約8000枚を配布

法蔵寺子ども囲碁教室のお知らせ

皆さん、囲碁というゲームを知っていますか？囲碁をするのが楽しくなると思います。囲碁は「石のしりとり」みたいなゲームで、でもルールは簡単です。囲碁の歴史は約3000年。東洋で古くからゲームです。年初野市の公立文芸会館の有志が囲碁少年部、福島の公立の有志が囲碁少年部、創立以来、第一歩進んで活動がすすんでいます。特に、二軒・三軒・木下・野村時代に日本でも盛んに行われ、その面白さが日本から中国や韓国に伝わりました。今や、ヨーロッパやアメリカなどの多くの人が楽しむ世界的なゲームです。

囲碁は日本の文化です。ふるさとを愛する皆さん、ぜひ「囲碁」を学んでください。囲碁は、心と心をつなぐゲームです。また、囲碁は囲碁少年部のご指導を受けていただきたいと思います。囲碁少年部へ、ぜひお申し込みください。お待ちしております。申し込み先：法蔵寺、電話：026-232-1111、FAX：026-232-1112、Eメール：housouji@nifty.com

名称	法蔵寺子ども囲碁教室
主催	安曇野市囲碁少年部ボランティアグループ
後援	安曇野市教育委員会、松本大学、法蔵寺の宗廟、市民タイムス、日本囲碁
開催日	毎週土曜日 14:00～16:00 (2019年4月6日より開始します)
場所	法蔵寺・法蔵寺 資料館から徒歩で約1分 (安曇野市安曇町八十二番地の平林、法蔵寺の境内にあります)
学費	月500円 (初年度費6,000円) (教材費、囲碁少年部代、通信費他)
参加対象	小学生・中学生
講師	藤野誠也、藤村隆、藤村元夫、法蔵寺ボランティアグループ
募集人数	1名以下は、法蔵寺子ども囲碁少年部、11月以降、安曇野市囲碁少年部、12月以降、松本大学と法蔵寺のボランティアグループ
申込先	法蔵寺ボランティアグループ 事務局 〒399-8101 安曇野市志保町 1500-13
申込方法	募集に法蔵寺子ども囲碁教室に申し込み後、以下事項を明記して届けてください。氏名・住所・学年・電話番号・電話番号
申込期	2月15日から28日の締め切り (丸筆 20名で締め切ります)

子ども囲碁教室の風景



大澤健朗プロ、小林千寿プロの講座チラシと講座風景

子どものための大澤健朗三段囲碁教室

主催：大澤寺子ども囲碁教室（この教室は安曇野市教育委員会の後援をいただいています）

囲碁は東洋で生まれ、その歴史は3000年、A1時代の世界的強国ゲーム。10年ほど、長野出身プロ棋士大澤健朗三段の「子どものための囲碁教室」を実施します。大澤先生は、囲碁難しと断言しますが、テレビでも活躍が認められました。子どもさんはもちろん、囲碁入門者から初心者まで、大勢の方のお出でをお待ちします。

第1期：6月 8日(土)
第2期：11月 23日(土)
第3期：2月 8日(土)
時：開：10時～12時
会：場：豊科・法蔵寺
(八十二歳行・児童公園の隣)
会費無料・申込不要
お問合せ： 囲碁普及ボランティア事務局
長野県 豊科市 090-5808-0768

大澤健朗先生紹介
昭和61年(1986年)7月9日生。
長野県出身。吉岡八段門下。
平成19年入段。29年三段。
日本棋院中部会本部所属。

午後1時～大澤先生の実力養成講座実施

第1期～第3期の午後13時～17時に豊科市公民館センター豊科高校東・成程公園付近で大澤先生実力養成講座が実施されます。市民ならだれでも参加できます。主に大澤先生の指導になります。囲碁のワンランクアップを目指してご参加ください。お申し込み、お問い合わせは三原館090-2167-0394まで。

※7月には長野県出身プロ棋士小林千寿六段の囲碁教室も予定しています。

安曇野の皆さまへ的小林千寿六段囲碁教室

主催：大澤寺子ども囲碁教室（この教室は安曇野市教育委員会の後援をいただいています）

囲碁は東洋で生まれ、その歴史は3000年、A1時代の現在では世界的強国ゲーム。大人も子どもと一緒に楽しむゲームです。平安時代の伝説『源氏物語』の巻にも囲碁が描かれます。京都の藤田徳良、豊後吉吉、徳川家康も囲碁愛好家です。囲碁は日本の伝統文化でもあります。私生活の小林千寿先生はヨーロッパに在住して暮らされています。日本棋院で指導されています。現在はお茶さんの小林寛九段が日本棋院理事長をされています。囲碁が打てる方なら誰でも指導を受けていただけます。大勢の方のお出でをお待ちします。

8月31日(土) 16時～18時

会場：豊科・法蔵寺
（十二歳行・児童公園の隣）

指導費：参加費無料・申込不要

お問合せ： 囲碁普及ボランティア事務局
長野県 豊科市 090-5808-0768

市つながりひろがる地域づくり補助金事業です。

安曇野涼風扇子展出品の小林千寿先生の作品
小林千寿先生の紹介
昭和29年(1954年)9月25日生。長野県出身。日本棋院九段門下。昭和47年入段。48年二段。49年三段。51年四段。53年五段。平成28年九段。小林千寿九段。小林千寿七段。圍碁士小林千寿九段賞。内田謙ハリス・ヒート九段。アンテナ・トルマキ九段。日本棋院理事兼教授。

常設：市民の皆さまへ 囲碁紹介と囲碁対局交流

毎週土曜日 14時～16時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時

毎週土曜日 14時～16時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時

① 囲碁入門指導を受けたい方や囲碁対局交流を希望するには市役所4階のパラマラワンジで囲碁普及ボランティアグループのメンバーがお持ちしています。

② 子どもと囲碁対局を希望される方は法蔵寺の子ども囲碁教室におかけください。

お問合せ： 囲碁普及ボランティア事務局 090-5808-0768

常設：市民の皆さまへ 囲碁指導と囲碁対局交流

毎週土曜日 14時～16時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時

毎週土曜日 14時～16時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時 二時～四時

① 囲碁入門指導を受けたい方や囲碁対局交流を希望するには市役所4階のパラマラワンジで囲碁普及ボランティアグループのメンバーがお持ちしています。

② 子どもと囲碁対局を希望される方は法蔵寺の子ども囲碁教室におかけください。

お問合せ： 囲碁普及ボランティア事務局 090-5808-0768



購入碁盤碁石（左）
購入教材（右）



安曇野涼風扇子展へ出品した囲碁教室の子ども達の作品



市民への囲碁普及

入門講座 (左)

子どもが作った囲碁新聞 (右)



安曇野市囲碁将棋大会

囲碁の部の新聞記事

(信州囲碁新報より)

第10回 安曇野市囲碁大会

B組優勝は小学4年の高橋怜聖君

中信支部長 峯岸芳夫

第10回安曇野市囲碁将棋大会は11月24日、市明科公民館で開催され、囲碁の部の参加者は過去最高の78人でした。小学生18人の参加がその要因で、18人の内訳は五段1人、三段3人、二段1人、初段1人、級位者12人。来年はさらに実力をつけて大会に臨んでくれると期待できます。

このように第10回の記念大会を盛況に迎えられたのは、関係者の普及活動の協力のたまものと感謝したいと思います。

大会は高段者から順にA組、D組に分かれ、スミス方式ハンデで行われました。成績の結果は次のとおりになりました。

▽A組

1位	太田 稔七段
2位	松本 和啓六段
3位	木曾 宏七段

▽B組

1位	高橋 怜聖三段
2位	植原 伊吹三段
3位	柄澤 哲三段

▽C組

1位	小池 卓三段
2位	寺島 康二段
3位	大坂 恭範一段

▽D組

1位	櫻井 詢四級
2位	池田 三男七級
3位	原田 銀士七級

B組の1位は小学生の高橋怜聖君(安曇野市豊科北小4年)で、囲碁を始めて2年、飛躍的な進歩に注目が集まりました。

また、A組で活躍された方々には、子どもたちへの囲碁普及指導に熱心な方が多いのが特徴的でした。

例年どおり囲碁指導に熱心な日本棋院中部総本部の大澤健朗三段においでいただき、大会前日に囲碁教室を開きました。午前中に豊科・法蔵寺での子ども囲碁教室に20人の子どもも参加し、午後は豊科老人福祉センターでの実力養成指導碁を15人の方が受けました。大会当日には入門講座、指導碁、囲碁講座を繰り込んで充実した一日になりました。

大澤先生が子どもたちに語っていたことが印象的でした。先生の言葉「多くの囲碁愛好者の方が子どもたちと対局する機会を増やしてほしい」は示唆に富んだものと感じました。

クラムザッハでの囲碁

普及風景 (左)

ドイツ語版囲碁入門書

(右)



囲碁入門

Einladung zum Igo-Spiel

Das I-Go-Spiel nennt man auch einfach "Go".

"I" bedeutet "etwas umgeben".

(1) Wenn man die Steine eines Gegners umgibt, kann man diese Steine gewinnen.

(2) Beim Go gewinnt, wer es schafft auf dem Go-Brett mehr Gebiet zu umzingeln.

- Die Steine werden auf die Kreuze am Brett gesetzt, nicht in die Felder. Steine die einmal gesetzt sind, dürfen nicht mehr bewegt werden.
- Schwarz und weiß setzen immer abwechselnd. Schwarz beginnt.

事業名 安曇野の子どもを育てよう

団体名	こちょこちょの会		
代表者名	赤沼 美奈子	連絡先	
活動拠点所在地	ささえあいセンターにじ	構成人数	10人
事業実施総額	250,000円	補助金額	125,000円
主な補助金使途	謝礼、備品購入		
事業実施日・期間	2019年4月8日～2020年3月7日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>① 親子講座 2019年4/8・6/3・7/1・8/5・9/9・10/15・11/12・12/2 2020年1/6・2/3・3/2 ※毎回子育て中のお母さんや子育てに関心のある方が「心と身体の発達」について学び合いました。日々お家でできるように、わらべ歌やふれあい遊びを親子でやったり、目の前の子どもに実際どう関わったらいいか？等実践を通して学び合いました。</p> <p>昨年から継続の親子がお友達を連れてきてくれたり、子育て世代の家庭で読まれている「イクジィ」という雑誌の特集に取り上げられた事から、参加される親子が増えました。又、お休みのお父さんと一緒に参加される家族が増え、お母さんから喜ばれました。</p> <p>又、親子講座終了後の何でも相談「サロンDE かくたメソッド」では、お母さん同士経験談を話したり情報交換したり、成人のお子さんの相談にその時間だけ来てお話して帰るなど、お母さん達からも「楽しみ、有意義な時間」という声を頂いています。</p>		
	 		

事業概要・成果
・今後の展開

② 講演会（2019年11月30日9時半～11時半）

育て直し、育ち直しアドバイザーの角田春高先生を招き、「あずみの発みらい行き子育て」という題で赤ちゃんが大人になる道筋を、心の発達を軸にお話ししました。当日は親や子育てに関わっている赤ちゃんから70代の約40名が安曇野市や松本市から来られました。後半の質疑応答は人見知り後追いに関する事や高校生の子ども事、異なる家庭事情での子育てについてなど幅広く、参加者のアンケートでは「直ぐ実行したい」「家中でちょこちょこしてみる」「子どもだけではなく、全ての人に当てはまる話」「シリーズでやって欲しい」と好評でした。講演会をきっかけに、事例検討会や親子講座で更に学びたいという参加者がいらっしゃいました。

③ 事例勉強会 9回(2019年4/27・6/8・7/27・8/31・9/28・10/26・11/30・2020年1/11・3/7)

親や子育てに関わっている人が、我が子や職場、子育て支援の現場の子どもを対象に、子どもの関わり方を継続的に講師に角田春高先生を招き学びました。継続して取り組んだ参加者からは「カッとなって暴れる子に育て直しを取り組んだ所、子どもらしさが出て来てお友達と楽しく遊べるようになった」「不登校の高校生が親子関係を改善し、自分で決めた道を歩み始めた」という報告がありました。講演会の後は、参加者も増え幅広い年代の老若男女が学ぶようになりました。



事業名 明科天田山神社周辺里山整備と桜の苗植樹

団体名	あづみの樹楽会		
代表者名	渡辺 晃	連絡先	82-6226
活動拠点所在地	安曇野市明科	構成人数	15名
事業実施総額	240,000円	補助金額	120,000円
主な補助金使途	活動保険代、ガソリンオイル、桜の苗、講師指導料等		
事業実施日・期間	2019年4月16日～2020年3月31日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>【事業概要・成果】</p> <p>明科の里山は、安曇野市内の他の里山同様、長い間人の手が入らず、間伐されず、松枯れ被害と共に荒れた状態になっています。</p> <p>私たちは、明科天田山神社周辺の里山を整備し、神社下の桜を復活させ、観光ビュースポットの復活も鑑み、市民の憩いの場所とする事を目的に活動してきました。</p> <p>1. 活動状況</p> <p>会員15名と会員外の方4名を含めて、2019年4月より12月までに、活動日32日、延べ人数172人で活動してきました。</p> <p>2. 活動内容と成果は以下の通り</p> <p>①里山の整備、林道の整備、神社参道の草刈り、倒木の除去など</p> <p>②北アルプスの眺望が見えるように、伐採しビュースポットを作った。</p> <p>③手入れされていない山の伐採と伐採後に桜の苗を植樹</p> <p>④天田神社の神殿に倒れそうな太い枯れた松の伐倒と除去</p> <p>⑤会員外に4名の方が新たに活動に参加</p> <p>⑥伐採届の申請を会独自で行った。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>来年度も、継続して、里山整備と桜の苗の植樹活動を継続します。</p> <p>また、明科地区の荒れた山の木を伐採して、市民の憩える里山造りに取り組みます。</p> <p>安曇野市の里山再生計画『さとぷろ。』の推進に助力し、会員のほかにも、活動に参加してみたい方達を受け入れて行きます。</p> <p>あづみの樹楽会の活動状況は、長野県内の活動ブログ『ナガプロ』にて情報発信を続けます。</p>		

1. 林道の整備、通行の邪魔になる、竹や倒木などを片付けました。



←明科の案内看板：実際は桜の名所でなくなっている。



←通行の邪魔になる林道の竹を伐る作業

2. 絶景を確保する活動

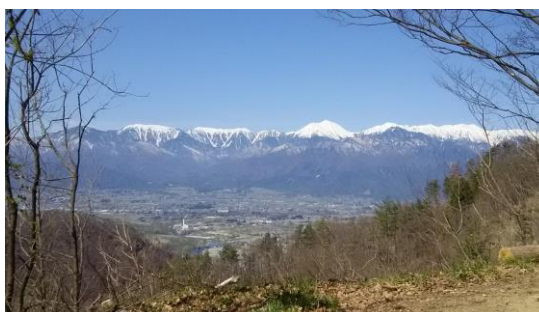
・北アルプスの眺望が、ニセアカシアの木の繁殖で、葉が茂ると見えなくなっていました。眺望を確保するため、斜面の木を伐採しました。

※2019年4月16日
作業実施

ニセアカシア伐採による→
北アルプス眺望の確保
(作業前)



(作業後) ↓



3. 参道の整備

・草ぼうぼうで、倒木のあった参道を、草刈り機、チェーンソーで整備し、神社まで歩いて行けるようになりました。



参道の整備 (実施前)



→ 草刈り・雑木伐採実施後

4. 里山整備と桜の
植樹

- 荒れた里山を蘇らせる活動
- …古い桜の樹を残し、枯れた松や斜面の木を伐りました。
- …その跡地に桜の苗を植えました。

※2019年11月30日実施

植樹参加者 12名

事前準備参加 28名



皆伐した斜面



朝の植樹前の様子



苗を植えた後の水やり



苗を植えた後の鹿よけ柵の設置 No 1



姿形よく決まった柵の設置 No 2



植樹終了後の斜面



笑顔の午後の参加者と植樹後の天田山



桜の苗の植樹状態

5.天田山神社隣の倒れ
かかった枯れた松の
伐倒

- 神社神殿の隣の枯れた松を伐倒し、神社の崩壊の危険性を除去するとともに、市民の皆さんが安心して楽しめる里山を目指しています。



社殿と枯れた松



松が倒れれば、社殿が崩壊する。



伐倒の邪魔になる燈籠の解体・移動



伐倒玉切りした松と神社

《私たちの目指す姿》

明科、天田山の桜を復活させ、市民が憩える場所として里山を再生させたい。第一歩として、里山整備と伐採跡地に桜の苗木を植樹したが、更に誰でもが安全に楽しめる里山にしたい。

また、活動を継続して、何年か後に桜の名所として復活させていきたい。



事業名 「ぱおぱお異世代交流会」開催事業

団体名	NPO 法人 子育て支援ぱおぱお		
代表者名	小口 茂子	連絡先	77-1180
活動拠点所在地	安曇野市三郷明盛 1363-1 番地	構成人数	75 人
事業実施総額	124,928 円	補助金額	62,000 円
主な補助金使途	原材料費、講師謝金、事務費、チラシ制作委託		
事業実施日・期間	下記のとおり		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>事業概要 : 全 10 回の異世代交流会を、法人会員、地元シニアクラブの方々だけでなく広く市民対象に開催。</p> <p>成果 : 子育て世代の親子とシニア世代を含めた近隣住民との交流ができた。子育てに関心のある地域の方々を法人の活動拠点に招いて、日々の活動を知っていただくことができた。</p> <p>今後の発展 : 近隣の幅広い世代の方々に、法人の活動を理解してもらい、地域ぐるみで子育てできる環境をつくる一助となりたい。</p>		
第 1 回交流会 「豚汁会」 (R1 年 5 月 13 日)	<p>一日市場シニアクラブの皆さんが来てくださり、自己紹介の後、手遊びや歌で盛り上がりました。手形取りの工作をした後、皆でおしゃべりしながら豚汁とおむすびを頂きました。(参加数：親子 20 組、異世代 12 名)</p>		
第 2 回交流会 「フラワーアレンジメント」 (R1 年 6 月 3 日)		<p>買ったお花もありますが、シニアクラブの方々がお家に咲いていた花を持ち寄って下さいました。皆でわいわいと相談しながら素敵な作品を作ることができました。(参加数：親子 15 組、異世代 8 名)</p>	
第 3 回交流会 「七夕まんじゅう・七夕飾り作り」 (R1 年 7 月 8 日)		<p>安曇野の七夕の伝統食、七夕まんじゅうの作り方をシニアクラブの方に教わりました。大先輩が丁寧に指導して下さったおかげで、初めて七夕まんじゅうを作ったママ達もとても上手にできました。(参加数：親子 20 組、異世代 18 名)</p>	

第4回交流会
「流しそうめん」
(R1年8月5日)

シニアクラブの方々が天ぷらを揚げ、大量のそうめんを茹でて下さいました。なかなか体験できない長いそうめん流しに子ども達も大人も大興奮。そうめんを食べながら和気あいあいと話がはずみました。(参加数：親子35組、異世代16名)

第5回交流会
「子育て孫育て講演会」(こちょこちょの会協賛)(R1年9月2日)



育て直し・育て直りアドバイザー臨床心理士の角田春高先生を講師に迎え「心を育てる」と題した講演会を開催。赤ちゃん期の愛情が一生の基盤になる等の内容に大きな反響がありました。チラシを作成、配布したので近隣からたくさん参加して下さいました。(参加数：親子27組、異世代35名)

第6回交流会
「焼き芋会」
(R1年11月11日)

焼き芋会は、おじいちゃんたちが大活躍。朝から炭をおこして下さり本格的な焼き芋ができました。焼いている間、ゲームをしたり工作をしたり。子ども達は焼きあがったお芋をおじいちゃんから受け取り、美味しそうに頬張っていました。(参加数：親子23組、異世代21名)

第7回交流会
「しめ縄リース作り」
(R1年12月9日)



ばおばおに通っているママさん先生と昔からのしめ縄飾りの名人先生がタッグを組んで、藁を縄に編むところから教えて下さいました。昔ながらのしめ縄に色々な飾りを付けてアレンジし、これぞ正に異世代交流！なりリースが出来上がりました。(参加数：親子15組、異世代12名)

第8回交流会
「まゆ玉作り」
(R2年1月6日)



会員さんの中には転入者も多く、三九郎を知らない方もいます。シニアの方々が、よろず物のいわれを説明しながらまゆ玉作りの指導をして下さいました。安曇野の伝統文化にふれる機会となりました。(参加数：親子14組、異世代9名)

事業名 落語ライブ

団体名	世代を超えて地域の笑顔の繋がりを考える会		
代表者名	山田 百合	連絡先	
活動拠点所在地	常念ドーム	構成人数	7人
事業実施総額	102,813円	補助金額	40,000円
主な補助金使途	講師謝礼 消耗品 事務費		
事業実施日・期間	2019年8月31日(土)		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>【事業概要】 地域のコミュニティの希薄化が課題になっている現状を、コミュニティの再構築に向け、地域の子どもからお年寄り、子育て中のお父さん・お母さん、また障害のある人ない人に関わらず、全ての世代を対象にした行事として、落語を中心に紙芝居や遊び歌、お笑いも交えて、大阪から天神亭美笑さんを一昨年同様に講師に招いて、楽しい笑顔の時間を共有することによって、会場に一体感が生まれ、地域の繋がりを深めることを目的としました。</p> <p>地域の子どもからお年寄りまで世代を超えて、一人一人の笑顔が主役となり、みんなが笑顔になることで「笑顔の顔見知り」の繋がりが広がっていくため、それらが結果的には、子ども達にとっての防犯になり、高齢者の方々にとっては地域の支え合いに繋がると考え、実施しました。</p> <p>【成果】 常念ドームのいくつかの小さな部屋にもかかわらず、子どもから高齢者まで世代を超えて、午前午後あわせて85名の多くの人に来てくださり、地域の皆さんが笑顔になることができ、「笑顔の顔見知り」の繋がりが広がり、地域の繋がりができました。</p> <p>【今後の展開】 地域の子どもからお年寄りまで世代を超えて、一人一人の笑顔が主役となり、みんなが笑顔になることで「笑顔の顔見知り」の繋がりが、今後も、もっと！もっと！広がっていくため、年に一度継続していきたいと思います。</p>		

天神亭美笑さんの
落語絵本の読み聞かせ
と遊び歌



天神亭美笑さんの
落語「動物園」



天神亭美笑さんの
落語「うなぎ」



天神亭美笑さんの
紙芝居



事業名 あづみ野シネマフェスタ

団体名	あづみのアクトーズアカデミア		
代表者名	河崎 義祐	連絡先	77-4610(岡村)
活動拠点所在地	安曇野市	構成人数	5人
事業実施総額	334,360円	補助金額	167,000円
主な補助金使途	上映料、チラシ印刷、講師謝礼、会場使用料		
事業実施日・期間	2019年7月28日(日)		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>有料入場 195 人(サポート 7 人)と、たくさんの人々が入場して、フェスタは大いに盛り上がりました。</p> <p>来場された方の声で最も多かったのは、「安曇野市の周辺には映画館がないので、こういう企画は大変ありがたい。」というものでした。また、上映する映画に対しても、お帰りのときに、「とても感動した」とのうれしい声をききました。</p> <p>今回、ダンス愛好家に、上映後、映画のなかのダンスシーンと同じダンスを踊ってもらいましたが、会場が盛り上がり、予想以上の楽しい時間もてました。</p> <p>また、お客様に、地元の菓子店によるスコーンを配布しましたが、皆様から好評をいただきました。</p> <p>フェスタの主旨である、「安曇野市に文化を育む」が、次第に伝えることができたのでは・・・と思っています。</p> <p>今年も3回目のフェスタを予定していますが、地元の人々に認知されてきたこうした企画に、安曇野市からの支援・協力をお願いしたいと思います。</p> <p>補助金を受けることで、入場料を安くすることができ助かります。できたら地域づくり課の方たちも、来場していただければ、実際の活気が理解できると思います。そして、こういう企画なら支援していきたい、と感じると思うのですがいかがですか？</p> <p>担当の方が、審査会での補助金の可否が決まると言われますが、審査会の方々は、こうしたイベントを見ていただいていますか？</p> <p>イベントを実際にみて、その活気を「まのあたりに」すれば、きっと「こうしたイベントが安曇野市には必要だ」と思われると信じます。書面上の審査も必要だと思いますが、実態を見て判断することも大切</p>		

ではないでしょうか？

昨年、担当者から、補助金がでなくなる時・・・云々の話がありました。2回目の申請でのそうした発言に、とまどいました。

そうではなくて、イベントを見て、来場者の熱気を感じてもらえていたら、そういった発言はないのでは・・・と強く思いました。

市の方々が、イベントに対して興味と喜びと関心を持って、寄り添っていただけたら・・・願っています。

・MGプレス紙面
(元年7月10日)



フェスタでダンスを披露するシャイン・ダンス(前列7人)、観劇を助けた河崎さん(前列中央)と念木さん。(左)

映画館ない安曇野で上映会

28日 「シネマ伝道使、河崎」開く「あづみ野シネマフェスタ」

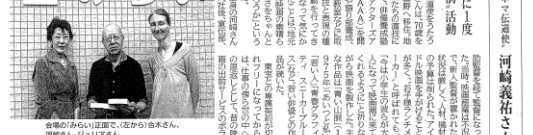
安曇野市には映画館がない。そのため、映画を観たいという人々の声は、年々高まっている。そんな中、28日、安曇野市で「あづみ野シネマフェスタ」が開かれた。このイベントは、シネマ伝道使の河崎義祐さんと念木さんらによって企画された。フェスタには、ダンスを披露するシャイン・ダンスや、観劇を助けた河崎さんらも参加した。会場には、映画の魅力を伝えるためのパネルや、映画の歴史に関する展示も用意された。また、映画の鑑賞や、映画の制作に関するワークショップも行われた。このイベントは、安曇野市の文化振興や、映画の普及に貢献するものとして期待されている。

03 2019. 7. 10 / Wed. MGプレス

Local News

素晴らしさ伝えたい 思い強く クロースアッス

1年に1度、出前活動



「シネマ伝道使、河崎義祐さん 安曇野市」

1年に1度、出前活動として、映画の魅力を伝えるためのパネルや、映画の歴史に関する展示も用意された。また、映画の鑑賞や、映画の制作に関するワークショップも行われた。このイベントは、安曇野市の文化振興や、映画の普及に貢献するものとして期待されている。

会場のみらい正堂で、(左から)念木さん、河崎さん、ジュリアさん

作品深める ステージも

「あづみ野シネマフェスタ」は、映画の魅力を伝えるためのパネルや、映画の歴史に関する展示も用意された。また、映画の鑑賞や、映画の制作に関するワークショップも行われた。このイベントは、安曇野市の文化振興や、映画の普及に貢献するものとして期待されている。

安曇野市で映画館がない安曇野市で映画の魅力を広める「あづみ野シネマフェスタ」が28日、同市穂高交流学習センター「みらい」であった。英国映画「輝ける人生」(2017年製作)を上映。安曇野市在住の映画監督、河崎義祐さん(83)らのトークイベントもあり、映画ファン約200人が楽しんだ。

・信濃毎日新聞紙面
(元年7月29日)

常設の映画館がない安曇野市で映画の魅力を広める「あづみ野シネマフェスタ」が28日、同市穂高交流学習センター「みらい」であった。英国映画「輝ける人生」(2017年製作)を上映。安曇野市在住の映画監督、河崎義祐さん(83)らのトークイベントもあり、映画ファン約200人が楽しんだ。

市内の俳優養成講座「あづみのアクトースアカデミー」が昨年に続いて企画。ダンスを通じ、シニア世代が新しい人生に踏み出す姿を描いた映画に、松川村の60代女性自身が人生の主役であること



河崎監督「若らが映画の魅力などを語ったトークイベント」

河崎監督「若らが映画の魅力などを語ったトークイベント」を改めて大事にしたいと感じた。来年の開催も期待したい」と話していた。

上映後はステージで、中信地方のダンス愛好家8人が上映映画のダンスシーンを再現。息のそそった踊りに観客から大きな拍手が上がった。

事業名 安曇野市内のホタルの発生状況調査

団体名	NPO 法人 川の自然と文化研究所		
代表者名	吉田 利男	連絡先	72-3768
活動拠点所在地	安曇野市内全域	構成人数	25名
事業実施総額	177,000円	補助金額	88,000円
主な補助金使途	講師謝礼、パネル作成費、印刷費、通信費		
事業実施日・期間	2019年6月1日～2020年3月31日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>市内には、湧水の流れの豊かな豊科、明科などを中心として、広くホタルの発生がみられている。また、その環境を保全する団体も活動を行っている。当会としては、昨年度の事業に引き続き、市内のホタルの生息状況の把握と市内の保全活動の支援を行った。</p> <p>昨年度の事業では、市内のヘイケボタルとゲンジボタルの発生状況の概要を確認することができた。今年度は、昨年度得られた生息情報のある場所の現地確認を行った。また、保全活動団体との情報共有を継続し、保全活動地の視察も行った。今後も活動の支援を継続していく予定である。</p> <p>そのほか、市民向けの観察会を開催した。</p> <p>【成果】</p> <p>■講演会（7/13）の開催</p> <p>岩原の堰におけるホタルやオオルリシジミの保護について、百瀬新治氏さんより講演いただきました。当日は、30名程の市民が集まり、良い情報交換の場となりました。</p> <p>■安曇野市内でのホタルの生息調査（6～8月にかけて）</p> <p>安曇野市内の河川で、ホタルの生息状況を調べ、新たに4か所のヘイケホタルの発生を確認した（中萱のため池、一日市場の西堰、高家熊倉の用水路、堀金岩原国営公園内）。</p> <p>■安曇野市内でのホタル観察会の実施（豊科高家、堀金、一日市場）</p> <p>安曇野市内の河川で、ホタルや水生生物を中心とした観察会を3回開催しました。サワガニやカワニナなどホタル以外の生物も多く観察でき、川に親しみながら、ホタルを含む川の生き物について勉強してもらいました。</p> <p>■安曇野市内でのホタル保全活動地の視察（堀金三田、堀金岩原）</p> <p>ホタルの保全活動地の現地視察を行い、生物の生息状況を確認するとともに、保全に必要な整備作業について現地指導した。</p>		

第 14回「川の自然と文化」講演会
7月13日
豊科交流学習センター
「きぼう」
30名の参加



水辺観察会
8月17日 (左)
豊科高家



10月6日 (右)
堀金

ホタル保全活動地
視察
10月26日
堀金三田 諏訪神社



事業名 味覚の授業

団体名	安曇野調理師会		
代表者名	田島 修二	連絡先	72-5942
活動拠点所在地	安曇野市内小学校	構成人数	40人
事業実施総額	105,858円	補助金額	50,000円
主な補助金使途	調理器具・材料購入		
事業実施日・期間	2019年10月15日(火)・21日(月)・23日(水)		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>【事業概要】</p> <p>食文化を子供たちに伝える為、1990年10月第三週にフランス全土で始まった味覚教育活動で、日本でも2011年10月第三週に「味覚の授業」が始まり、安曇野調理師会も西洋料理の会員が中心となり、2012年から「味覚の授業」にボランティアとして参加し、味覚の未発達段階にある小学生を対象に安曇野市内の小学校で味の基本となる「塩味」「酸味」「苦味」「甘味」日本の食文化に根づく「うまみ」を加えた五味についての知識や五感を使って味わい、作る楽しみに触れる体験学習を行います。三校で授業実施。</p> <p>【成果】</p> <p>塩味(塩)・酸味(酢)・苦味(カカオ)・甘味(砂糖)・うまみ(出し汁)を舌で味わい、五味の特色を確かめ、舌のどこで味を感じるのか体験し、干しぶどうは五感を使って試食しました。うまみのもとになるロール状の長昆布や硬い本枯節の形状・味・触感を観察し、出し汁のうまみを体験。調理実習では安曇野で収穫できる野菜を使い、五味が味わえるみそ汁やラタトゥイユを、食材に味を加えながら、炒めたり煮たりして香りや音など調理する楽しみを体験しました。試食では、五感を研ぎ澄ませ、食べることの楽しさや、五つの味が合わさった美味しさを味わうことができました。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>味覚の未発達な子供たちが、味覚を意識し、五感を働かせて味わうことの大切さや楽しさを体験する授業を小学校で今後も実施し、保護者方も味覚への関心を向けてもらえる機会を作っていきたいと思います。</p>		
調理器具購入	<ul style="list-style-type: none"> 調理器具が整い準備が容易になり、調理時間や味が統一できました。 かつお節削りで本枯節の香りと食感を確認できました。 	 	鍋・お玉 かつお節削り器・本枯節

○明南小学校
10月15日(火)
48名(2クラス)
講師12名

○堀金小学校
10月21日(月)
96名(3クラス)
講師19名

○穂高西小学校
10月23(水)
25名(1クラス)
講師8名

【2時限目】

各クラスで授業
講師自己紹介
味ってなに？

- ・5つの味覚
- ・うまみの味は？
- ・五感で味わう

五味	五感
塩味	目 視覚
酸味	鼻 臭覚
苦味	耳 聴覚
甘味	触 感覚
うまみ	口 味覚

【3時限目】

料理をつくろう

ラタトゥイユ・味噌汁
・鍋に入れる順番注意
・いろいろな味が混ざってどんな味になる？

【4時限目】

味わってみよう

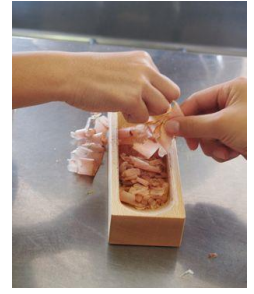
・同じ材料なのに鍋ごと味が違うのはなぜ？
五味が味わえるかな
地産地消の話と記念撮影



味覚キットで5つの味を確かめよう 舌で味を感じることができます 五感を使って食べてみよう



うまみのもとになる昆布とかつお節



北海道で採れた長昆布の原型は長いよ！ 硬い本枯れ節を削り、うまみのもとになる出し汁を作ろう



昆布とかつお節のだし汁を試飲 香りと出し汁の味はどうか 塩を一つまみ入れ飲んでみよう



みそ汁材料 出し汁に根菜から入れます 具が煮えたら味噌をお玉でときながら味を調えましょう

ラタトゥイユ材料



たくさんの野菜が煮えました



炒めながら味を調えます



長野県や安曇野市で採れる農産物の話を聞きます 旬ちゃんとみずんを囲んで記念撮影

事業名 「下鳥羽の文化遺産～お宮と祭り～」の冊子出版

団体名	下鳥羽の古文書を読む会		
代表者名	西沢 洋明	連絡先	73-2598
活動拠点所在地	下鳥羽公民館（豊科 980-1）	構成人数	15人
事業実施総額	253,953円	補助金額	124,000円
主な補助金使途	発刊冊子料		
事業実施日・期間	2019年4月26日～2019年12月16日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>【事業概要】</p> <p>公民館活動の生涯学習会として、古文書解読勉強会の過去5年間の集大成として地区の文化遺産記録の冊子を発行し、改めて文化遺産を掘り起こし記録を残したこと。</p> <p>【成果】</p> <p>① 市の文化財登録された有形文化財やお宮と祭りについて深堀りできたことにより、埋もれた文化遺産記録を多くの方々に提供することができた。特に、狛犬、幟旗、棟札等についても記録を残すことができた。</p> <p>② 希望者への斡旋配付をおこない、新聞紙面を通じて安曇野市内の多くの方に冊子情報の提供ができた。</p> <p>③ 他地区で同様な文化遺産記録を残すことへの動機づけにもなったと思う。</p> <p>④ また、安曇野市内図書館及寄贈させていただいた。</p> <p>⑤ 講演会を行い、地区外の方にも狛犬についての文化遺産価値を展開できた。</p> <p>【今後の展開】</p> <p>埋もれた文化遺産である狛犬についての公開講演会を行い、多くの方にその文化歴史的価値を知っていただくことと、今後も各種講演会（公民館会議等の）には積極的に参加し、市の文化財を含め、文化遺産価値を多くの方々に知っていただくことで、文化遺産継承の一助となっていければと考えています。</p> <p>更に、古文書の勉強会の継続のなか、若手で解読できる人材の育成（文書館調査員への人材等）にも貢献していくようにしたい。</p>		

○冊子「下鳥羽の文化遺産～お宮と祭り～」の内容と新聞紙面内容

発行冊子内容



○冊子刊行講演会実施

講演会状況 12/4



○新聞報道記事

信濃毎日新聞記事 12/4

市民タイムス 12/5



事業名 神竹灯コンサート IN 安曇野神竹灯 2019&竹楽における特産品紹介

団体名	安曇野で暮らすように泊まる実行委員会		
代表者名	衛藤 悦郎	連絡先	82-5820
活動拠点所在地	安曇野市穂高5041番地 安曇野市商工会穂高支所内	構成人数	16人
事業実施総額	450,265円	補助金額	200,000円
主な補助金使途	神竹灯コンサート出演料、特産品紹介（消耗品費、出店料、会費・負担金）		
事業実施日・期間	2019年11月15～17日（特産品紹介） 12月6～8日（神竹灯コンサート）		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>令和元年11月15日（金）～17日（日）の3日間、大分県竹田市で開催される竹燈籠のイベント「たけた竹楽」の会場ブースにおいて「ハネだしりんご」をPR配布及び販売を行った。</p> <p>本年は、一部安曇野産リンゴの良品を販売用として仕入れし、「たけた竹楽」を訪れた観光客・地元住民の反応を調査した。</p> <p>概ね好評でケースでの販売発送の問い合わせが数件あり、今後の販路拡大へ向けた力強い判断材料となった。</p> <p>12月6日（金）～8日（日）に「安曇野神竹灯」開催の3日間各日2回のコンサートを行った。</p> <p>また、合わせて双体道祖神の郷として知られる安曇野を意識し、期間中開催される恋活イベントからブライダルへの発展「安曇野神竹灯ウェディング」へ向けて予備段階としてブライダルコーナーを設ける。</p> <p>今回も神竹灯期間中のウェディングを計画していたが実施には至らなく残念であった。</p>		

リンゴの選果作業及び地産地消屋台村設置風景



特産品リンゴの配布及び販売



令和元年11月15日(金)～17日(日)の3日間、大分県竹田市で開催される「たけた竹楽」



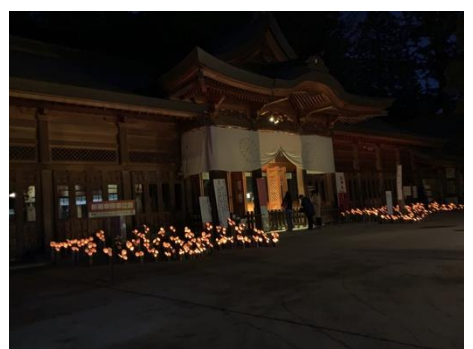
竹灯笼の積み込み風景



竹灯笼の荷下ろし



12月6日(金)～8日(日)開催の「安曇野神竹灯」と3日間各日2回のコンサートの様子



【安曇野市 市民生活部 地域づくり課 まちづくり推進係】

住所：〒399-8281 安曇野市豊科6000番地 （2階4番窓口）

電話：0263-71-2494（直通）

FAX：0263-72-3176

E-mail：chiikizukuri@city.azumino.nagano.jp

【安曇野市市民活動サポートセンター】

住所：〒399-8281 安曇野市豊科6000番地 （2階4番窓口）

電話：0263-71-2013（直通）

FAX：0263-72-3176

E-mail：kururin@city.azumino.nagano.jp